

第2次春日井市障がい者総合福祉計画(中間案)に対する意見について

第2次春日井市障がい者総合福祉計画に対する地域自立支援協議会からの意見は、次のとおりです。

1 「4 施策の推進 V生活支援 現状と課題 (P36)」について

障がい福祉サービス・相談支援事業及び地域生活支援事業の実績も踏まえた内容としていただきたい。

例えば、アンケートの結果、今後のサービス利用の意向の上位に挙げられている移動支援は利用実績が見込み量を下回っている。

利用が進まない要因としては、利用しづらさも考えられるが、今回示されている情報からは判断できない。

今後の評価では対象者数に対する認定者数の割合など詳細データの収集をして検討することが望ましい。福祉サービス利用促進のために、意向があるにもかかわらず利用が進まない現状があることと、利用が進まない要因を検討する必要があることに触れていただきたい。

【追加文(案)】

・・・4割弱の方が障がい福祉サービス等を利用していないことが分かりました。障がい福祉サービス等事業の実績 (p12, 13, 16, 17) でも見込み量をおおきく下回る実績のサービスがありますが、その中には今後のサービスの利用意向に関するアンケートで上位に挙げられたサービスも含まれています。意向があるにもかかわらず利用が進まない現状があります。

・・・中略・・・

こうしたことから、まず、福祉サービスの利用が進まない要因について検討し、利用を促進する対策をとり、家族の負担軽減を目指すとともに、障がい者生活支援センターにおいても、障がいのある人やその家族が生活上の課題について気軽に相談でき、満足できる体制を充実させることが必要です。

2 「4 施策の推進 V生活支援 地域生活支援事業所の内容と見込み量(P40、41)」

P40、41の表内の①障がい者相談支援事業について、相談件数(件)が、平成24年度8,083件、平成25年度8,808件、平成26年度9,533件に対して、実施見込みか所数(か所)と相談員数(人)4か所、9人と並行のままである。過去の相談者数及び相談件数の推移から考えると、達成は難しいのではないかと。また、P36にある生活支援の現状と課題からみても、今後相談支援事業の周知、啓発を含め相談者のニーズは高くなっていくと思われる。

よって検証(資料参照)結果からも、下記の通りの数値が望ましい。

単位	24年度	25年度	26年度
実施見込みか所数(か所)	4	4	4
相談員数(人)	11 (12)	11 (12)	11 (12)
相談件数(件)	8,083	8,808	9,533

※相談員数は、11人ないし12人とする

平成23年12月16日

春日井市地域自立支援協議会

会長 向 文 緒